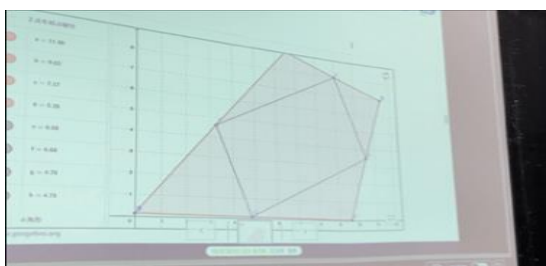


教材の活用場面

活用した教材	どうすれば相手に効果的に伝わるか？ (情報活用能力デジタル教材 教材番号 B4-8)		
教材URL	https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/html/000264.html		
STEP	STEP 4	領域	B 情報活用
学校名	品川区立伊藤学園	校種	中学校
学年	第2学年	教科等	数学
単元名	図形と相似		
活用の概要	東京都教育委員会が作成した情報活用能力デジタル教材を用いて、相手に伝えるためのポイントを授業の最初に確認する。その後、数学の授業の中で自身の考えを相手に伝える際に、伝え方の参考とする。		

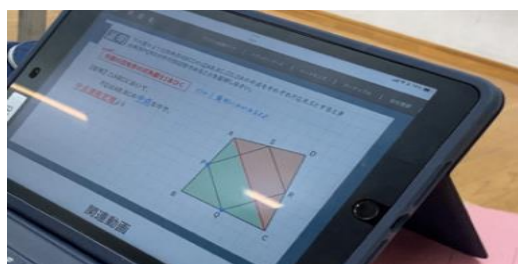
授業中の活用ポイント

【ポイント1】 動的な数学ソフトウェアを用いて、課題に気付く



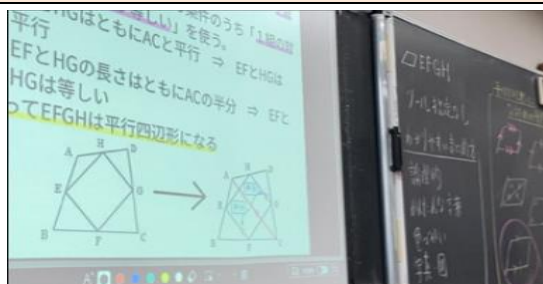
一人1台学習者用端末を使って、図形を生徒が動かし、他者参照を通して、いつでも四角形の各辺の中点を結んだ四角形が平行四辺形になることに気付く。

【ポイント2】 自分自身で必要な情報を得るためのツールを選ぶ



インターネットや教科書、他者に聞く等、自分の選んだ方法で情報を収集する。収集した情報を効果的にタブレットで説明をまとめる。

【ポイント3】 まとめたものを共有し平行四辺形になる理由を数学的に理解する



提出された説明を共有し(各タブレット配信&スクリーンミラーリング)、自分の説明を見直し、振り返る。

活用の様子

段階	●主な学習活動・生徒の活動	○支援・留意点 ■デジタル教材 ☆評価
導入	<p>1 本時の課題に気付く。 一人1台学習者用端末を使って図形を動かす。その際、他者参照を通して、いつでも四角形の各辺の中点を結んだ四角形が平行四辺形になることに気付く。</p> <p>2 効果的な伝え方を確認する。 ・具体例・比較・図・ポイントを絞る・色の使い方など。</p>	<p>■ どうすれば相手に効果的に伝わるか？ (教材番号 B4-8) を実施。</p> <p>○ 情報活用能力デジタル教材のリンク先を共有する。</p> <p>○ スクリーンに拡大した四角形を投影し、実際に頂点を移動させることで各辺の中点を結んだ四角形の形が変わることを見せる。</p> <p>■ 効果的な伝え方について全体で確認し、板書しておく。</p>
展開	<p>3 自分の選んだ方法で情報収集し、効果的に説明をまとめる ・情報収集する方法は自分自身で決める。 ・四角形の各辺の中点を結んだ四角形が平行四辺形になる理由を、「相手に分かりやすく伝える」という点を意識してまとめる。</p> <p>4 アプリケーション上で提出し、全体で共有する。 ・提出先である生徒の説明の一覧画面をスクリーンに映す。 ・生徒各自の端末へ提出された説明を共有する。</p>	<p>○ 生徒が別の方法を考えるための助言。</p> <p>■ インターネットや教科書や人に質問するなど、アクセスするところや活用できるものを確認する。</p> <p>■ 板書された効果的な伝え方を基に共有する。</p> <p>○ 訂正箇所や気付いたことについては、自分の説明に書き込んでいくよう助言する。</p>
まとめ	<p>5 振り返り ・共有して、改めて気付いたことを書き込む。 ・振り返りシートを記載する。</p>	<p>☆ 具体例を示したり、比較したりして、分かりやすく表現している。 【思考・判断・表現】</p>

